

第一回 学校運営協議会議事録

〈日時〉 令和3年6月22日(水) 15:30~17:00

〈場所〉 メモリアルルーム

〈出席者〉 **学校運営協議会委員** 江藤佐友里(保護者)、山下 勝也(地域住民)、林 孝信(地域住民)
佃 英男(学校関係)、鉄沢 尚美(学校関係)、後上 鐵夫(学識経験者)
本校教職員 小畑 敦彦、川端 裕子、四反田武志、松下 知弘、
秋山 広樹、植野 達也、齋藤 佑紀 (敬称略)

〈資料一覧〉 1 令和4年度 学校経営計画及び学校評価
2 スクール・ミッション・スクールポリシーについて
3 将来構想委員会について
4 進路指導部資料
5 令和3年度入学生 1年次アンケート
6 生活指導部資料

議題等

0 校長挨拶

1 会長、副会長の選出

2 本校の現状報告と取組

- | | | |
|--------------------|----------|-----------|
| (1) 今年度の学校経営計画について | (校長) | 〈資料1、資料2〉 |
| (2) 将来構想について | (教頭) | 〈資料3〉 |
| (3) 進路状況について | (進路指導部長) | 〈資料4〉 |
| (4) 広報活動について | (首席) | 〈資料5〉 |
| (5) 生活指導部長より | (生活指導部長) | 〈資料6〉 |
| (6) 新入生の状況について | (1年次主任) | |

3 質疑

4 閉会挨拶

○第2回の日程について

協議内容

- 1 会長・副会長選出が行われ、会長に後上鐵夫委員、副会長に佃英男委員が選ばれた。

2 議事

(1) 今年度の学校教育計画について（資料1、資料2）

1 【めざす学校像】

- ・変更なし。

2 【中期的目標】

1. 確かな学力の育成

- イ 今年度の1年次より新教育課程による観点別評価となったため、「主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業力を主体とした「学習力」という視点でとらえなおす。」「学習力向上および評価と指導の一体化をめざす」の2点を昨年度末の目標から追加する。

→これに関する研修を実施している。

2. キャリア教育、人権教育の推進

- ・変更なし。

3. 「自主・自律・創造」力と「協調・協働」力の育成

- ・変更なし。

3 【本年度の取組内容及び自己評価】

〈確かな学力の育成〉

- ・授業力向上チームが学習力向上チームに変わり、以前と同様に授業アンケート、学校教育自己診断の結果を踏まえ、授業展開の工夫を行っていき、「生徒にとってわかりやすい授業」とともに、「生徒が主体的に参加できる授業」を新たに構築できるよう努める。
- ・感染症対策と学習力向上のために、ICT機器を授業に一層活用できるように授業を工夫する。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、授業力を生徒を主体とした「学習力」という視点でとらえなおし、授業を通して「自己実現力、協働力、深く考える力」を育むことをめざし、学習力向上および評価と指導の一体化をめざし、公開授業や校内研究協議を活性化する。
→観点別評価の導入に伴い、指導と評価の一体化の観点から、「生徒がやる気の出る評価」について研究する。

〈キャリア教育、人権教育の推進〉

- ・変更なし

〈「自主・自律・創造」力と「協調・協働」力の育成〉

- ・変更なし

→昨年度承認されたものに加えて、今年度追加した箇所について新たに承認。

◎スクール・ミッション・スクールポリシーについて

1. スクール・ミッションとは

学校の設置者が各高等学校やその立地する地元自治体等の関係者と連携しつつ、各校の存在意義や各校に期待される社会的役割、めざす学校像等を定義するもの。10年サイクルで作成。

2. スクールポリシーとは

高等学校教育の入口から出口までの教育活動を一貫した体系的なものへと再構築するとともに、各校における教育の継続性を担保する目的で作成する3つの方針：育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）、教育課程編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）をいう。5～10年サイクルで作成。

→第2回学校運営協議会の議題とし、それまでに疑問点や意見等を各自で検討する。

(2) 将来構想委員会について（資料3）

1. 将来構想委員会とは

学年や分掌だけでは決定できない将来に向けての問題等について話し合い、校長に提言、または校長から打診される内容について提言をする。

2. 昨年度実績

①教職員の負担・業務削減

生徒と向き合う時間や自己研鑽の機会をつくるため、次の4つの取り組みを行った。

・連絡のオンライン化

→校内の連絡にメールを利用したが、Outlook や Gmail、一斉送信メールなど種類が複数あり、どの手段にするか統一などが課題。

・会議回数減

→会議を減らすことは難しいものの、会議資料のペーパーレス化など会議時間の短縮化のための工夫を行うことができた。

・研修回数減

→既存の研修の回数や内容の見直しを行うことができた。

・担任の負担減

→2人担任制から1人担任制になったことにより今までよりも担任の負担が増えた。そのため、朝の電話当番の縮小や欠席フォームの運用を行った。特に、欠席フォームについては、保護者からも電話連絡よりも簡単にできるということで効果があった。今年度は、部活動の活動時間の取り決めや顧問の在り方について話が出てきている。

・仕事量集中の改善

→昨年度は声掛けや講師時数の配分方法見直しなどがあまりできなかったため、今年度は昨年度よりも踏み込んでいく。

②校長への提言

「生活指導は進路指導である」のもと指導を行っており、3年次における担任の分掌配置について各年次に意見を聞き、校長に提示した。

そして、今年度の3年次は「進路2名、生活指導1名」から「進路2名、生活指導2名」に変更した。

③その他

- ・4考査制の導入について

全学年が新カリキュラムになる3年後の令和6年に4考査制を導入できるよう、スケジュールを作成する。

これは、授業時数の確保やテスト以外での評価のための授業充実に向けるためである。

- ・業務の把握フォームにより仕事（分掌）の見える化をする。

校長が各分掌の業務量を把握し、分掌人数の調整等を行うことで、生徒との時間を作る。

④今年度の取り組み

- ・引き続き教員の負担軽減・業務改善・スリム化の実現
- ・担任団「1クラス1担任+年次主任・学年コーデ」の検証
- ・校長からの検討事項

(3) 進路状況について〈資料4〉

- ・最後まで進路保証する貝塚高校のよさ

1. 16期生(2021年度卒業生)の進路状況(卒業生236名)

- ・専門学校等 132名と全体の約6割を占めている。

【大学】 34名

- ・大阪河崎リハビリテーション大学7名が本校で最多。
- ・桃山学院大学、四天王寺大学の文系学部が多い。

【短期大学】 30名

- ・昨年度は、保育系の進学が特に多かった。

【看護専門学校等】 30名

- ・昨年度は志願者全員が合格した。

【大学校】 7名

- ・近畿職業能力開発大学校に7名進学。

【各種専門学校等】 132名

- ・医療分野が46名、衛生分野(調理・美容)が21名と、この二つの分野が特に多い。

【就職者】 27名

- ・就職者は近年減少傾向にあり、例年30名程度→奨学金の充実により進学者が増えている。

2. 3年次生(17期生)の進路希望状況(5月1日時点)

- ・進学希望者189名 就職希望者27名 未定者17名
→昨年の3年次生とあまり変わらない。

3. 本校での進路の取り組み

- ・進路実現率100%をめざすため、各年次で以下の取り組みを行っている。

3年次生：進路ガイダンス、「総合的な探究の時間」や進路HRでの取り組み

2年次生：「総合的な探究の時間」での取り組み(適性検査、分野別ガイダンス等)

1年次生：「産業社会と人間」での取り組み(卒業生の進路を知る、分野別ガイダンス等)

- ・入試関係

6月1日～ 専門学校A0入試エントリースタート(WEB出願が増えている)

4. 奨学金

第1回 申し込み 約140名（進学希望者の約8割が申し込み→奨学金がないと進学できない）
→給付型と貸与型があり、貸与型は返済が必要ということを生徒に指導

5. 就職

- ・9月16日に選考開始
- ・今年度から学校斡旋就職に関する変更点があり、「公開求人のうち、求人者が併願者の応募を可とする求人に関し、採用開始日（9月16日）から1人2社まで応募可能とする」こととなった。
- ・今後のスケジュール

7月中旬	求人票公開、説明会
7月末～8月上旬	応募前職場見学
8月下旬	履歴書作成
9月16日	就職試験解禁日

（4）広報活動について〈資料5〉

- ・昨年度は、本校の総合学科の魅力伝える学校説明会を3回実施した。
→今年度からは外部との合同説明会も行っていく。
- ・1年次アンケートを今年度よりGoogle Formを活用してChromebookで実施。
 1. 「問6 最重要視した受験理由」で「総合学科で多様な科目が選べるから」が最も多く、
続いて「行事が魅力的だから」「自宅から近いから」となっている。
→「自宅から近いから」は上位3位以内に入っていたものの、昨年度より減少した。言い換えると遠い地域からも生徒が入学しているということであるので、地域密着に加えて他の地域にも広めていけるよう、オープンスクール等の広報活動でより一層本校の魅力伝えていく。
 2. 「問7 比較した高校」では、「なし」と「貝塚南高校」がそれぞれ52人と51人でほぼ同数であった。
→普通科と総合学科の違いを広報活動で伝えていく。

（5）生活指導部長より〈資料6〉

- ・欠席・遅刻については2016年より減少傾向となっていたが、2020年から横ばいとなっている。
→遅刻指導の開始による効果があったものの、ここからさらに減らすための新たな施策を検討しなければならない。ただ、コロナ関係によりより厳しい指導がしにくくなっている。
- ・皆勤を増やせるようにしたい。年度末にPTAから1年間500円、3年間1000円（併せて1500円）の図書カードを贈呈しているが、昨年度のPTA生活進路委員会で①図書カードで良いか？②金額は現状通りでいいか？について検討してもらい、「継続」という形となった。精勤賞（遅刻・欠席・早退・停学のいずれか1回まで）も検討中。
- ・懲戒については近年減少傾向だが、今年度はかなり多いペース。（すでに12件。特に2年次）
特に、アクセル付き自転車は法律上原付バイクと同じ扱いで、公道で走っているものは法律違反であることがほとんど。自転車販売店が自転車と同様の扱いで販売し、公道ではアクセルを使わないよう言っているようであるが、この内容を警察に確認したところそれでも法律違反であるとのことであった。

→本校では、バッテリーが入っていなかったり、アクセル機能を使用していなくても、アクセル装置があればその時点で指導。

- ・今年度は、身だしなみキャンペーンを年間10回実施（教室で教員（担任・副担任）が指導とチェック）。校外指導を学期に数回、例年苦情の多い交差点で指導。
- ・5月9日に1年次生に交通安全講習会を実施。JAFから講師にお越しいただき、「ドライバー・自動車・歩行者から見た交通安全」というテーマで講演していただいた。普段とは違う視点で交通安全を考えた。
- ・5月24日に避難訓練を実施。今年度は教員の点呼も実施したが、教員の点呼体制を改めて見直す必要があり、9月の避難訓練ではより素早く点呼ができるようにしたい。
- ・6月20日に1年次生に薬物乱用防止講習会を実施。
岸和田市サポートセンターから講師をお招きし講演を行った。

（6）新入生の状況について（1年次主任）

- ・広報活動のおかげか、協調性のある生徒、真面目な生徒が多い。
- ・マスク着用の指導はする必要はなく、時間もきちんと守ることができている。
→これらは生徒たち自身が雰囲気を作っており、2年、3年になっても続けられるようにしたい。
- ・校外学習で、アクティビティからの集合に時間がかかると予想していたところ、10分前集合ができていた。「彼らを3年間きちんと育てていかないと」と思った。
- ・頭髪指導については、例年に比べて生活指導部の先生方のご尽力や生徒側の意識もあり、スムーズに進んでいる。

2、質疑

〈質疑〉

（将来構想）

Q. 夜間など緊急時に対応できる体制はあるのでしょうか？

A. 教員が20時21時に電話していることもあるのを確認しております。ぜひ検討させていただきたいので、ご意見をいただければと思います。

（進路）

Q. 公開求人でも2社内定をいただいた場合、どちらかを選択することができるのでしょうか？

A. おっしゃるとおり、どちらかを選択することになります。

Q. 奨学金について、給付型奨学金と貸与型奨学金の割合はどのようになっているのでしょうか？

A. 貸与型が圧倒的に多くなっております。貸与型奨学金には無利子と有利子があり、評定平均が高いほうが無利子の奨学金をもらいやすくなります。

Q. 給付型奨学金はどのくらいの割合で審査を通過しているのでしょうか？

A. 以前よりも通過しており、約半分ぐらいが通過しております。

Q. 全く進路が決まらなかった生徒はいるのでしょうか？

A. 生徒、保護者の両方が承諾しての進路未定者はいますが、それ以外の場合の生徒はいません。
なお、進路未定率は1.2%でした。

(生活指導)

Q. 懲戒件数について気になっております。原因や具体的な内容を教えてください。

A. すべて校内で起こった問題についての懲戒で、警察沙汰になるものはございません。累積によるものもあります。具体的には、喫煙、暴言、原付登校による懲戒です。不適切な言動については今後の課題であると認識しております。

Q. 避難訓練について、教員の点呼はどういうものなのでしょうか？

A. グランドに集合（警備の先生以外）し、教科主任が集約し、教頭に報告するものを行いました。
担任はクラスの点呼もあるため、教科主任が聞きに行くという形になります。今回の訓練では教科主任と担任が兼任の先生が教科の点呼を忘れてしまうことがあったため、代理を立てるなどの工夫を現在検討しております。

〈意見〉

- ・教員の働き方改革が最も重要であり、先生方の帰宅時間をどう早めるかについて検討してほしい。
- ・生徒に教えることが本分であるので、事務量の削減をどうすすめるかについても、一人でできること、集団でできることといったように考えて行ってほしい。会議の削減のところでは、できるだけ少なくし、全員でやるのではなく任せるところは任せるといった意識に変えて行ってほしい。
- ・研修の回数減については、現実では科学が進歩し、文部科学省の姿勢などさまざまな変化があるため、研修を行わないと情報が入らない。では、どのやって情報を得るのかについて考えて行ってほしい。例えば、全員が参加するところから特定の人だけ参加し、その参加者から他の人に伝えるといったような方法があるのではないか。さらに、保護者対応・保護者との連携はきちんとしてもらいたい。
- ・新入生が貝塚高校の魅力を知って入学していることは素晴らしいので、今後も貝塚高校の魅力をどんどん発信していくことをお願いしたい。

3、その他

- ・第2回の予定 10月19日（水）14：00～16：50 （※授業見学を含む／文化祭1週間前）